

## 第6 地域保健課

### 1 医療業務

#### (1) 令和元年度医療監視（立ち入り検査）状況

病院等医療機関を科学的で、かつ、適正な医療を行う場にふさわしいものとするため、医療機関が医療法及び関係法令等に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否かについて、医療法第25条第1項の規定に基づいて立ち入り検査を実施した。

医療施設	指導監視件数
病院	8件
診療所	28件
歯科診療所	22件
助産所	0件
計	58件

#### (2) 市町村別医療機関数及び施術所数

(令和2年3月31日現在)

市町村名	種別 病院	診療所		施術所		計
		一般	歯科	※1 (あ・は・き)	※2 (柔整)	
富士吉田市	1	53	32	43	23	152
都留市	3	18	13	22	12	68
大月市	1	22	13	11	7	54
上野原市	2	16	11	20	11	60
道志村	0	1	1	2	1	5
西桂町	0	2	2	2	1	7
忍野村	0	6	3	7	2	18
山中湖村	0	3	1	5	1	10
鳴沢村	0	2	1	1	4	8
富士河口湖町	1	22	15	27	13	78
小菅村	0	1	0	0	0	1
丹波山村	0	2	1	0	0	3
計	8	148	93	140	75	464

※1 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律による届出施設

※2 柔道整復師法による届出施設

(3) 医療従事者免許取扱状況及び市町村別医療従事者状況

ア 医療従事者免許（申請取り扱い件数）

（令和2年3月31日現在）

職種 種類	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	看護師	准看 護師	助産師
籍登録	6	4	10	8	55	2	3
書換	0	1	5	5	35	1	3
再交付	0	0	0	0	4	0	0
まっ消	0	1	0	0	0	0	0
計	6	6	15	13	94	3	6

職種 種類	診療放射 線技師	臨床検 査技師	衛生検 査技師	理学 療法士	作業 療法士	視能 訓練士	計
籍登録	10	4		22	15	1	140
書換	0	1	0	5	1	0	57
再交付	1	0	0	1	0	0	6
まっ消	0	0	0	0	0	0	1
計	11	5	0	28	16	1	204

イ 市町村別医療従事者

（平成30年12月31日現在）

施設名 市町村名	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看 護師	歯科 技工士	歯科 衛生士	計
富士吉田市	98	38	101	23	17	405	78	13	53	826
都留市	42	13	45	20	5	233	84	15	25	482
大月市	27	17	27	10	0	107	43	4	28	263
上野原市	29	15	30	12	0	151	62	3	13	315
道志村	1	1	0	2	0	2	3	0	0	9
西桂町	3	2	3	3	0	3	1	2	1	18
忍野村	3	6	2	5	0	11	7	1	4	39
山中湖村	12	1	4	4	0	28	3	0	3	55
鳴沢村	1	1	1	3	0	5	0	1	3	15
富士河口湖町	58	23	50	12	16	196	23	9	28	415
小菅村	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
丹波山村	1	1	0	2	0	0	1	0	0	5
計	276	118	263	97	38	1143	305	48	158	2446

#### (4) 地域保健医療計画に関すること

＜富士・東部地域保健医療推進委員会＞

地域の住民の健康、適正な医療提供体制の確保等富士・東部医療圏域内の保健、医療等の行政を総合的、計画的に推進することを目的として開催している。

(会議開催状況)

推進委員会

- ・ 第1回：令和元年5月24日（金）
- ・ 第2回：令和2年2月6日（木）

令和元年度 富士・東部地域保健医療推進委員会委員

役職名	氏名	備考
富士吉田市長	堀内 茂	
都留市長	堀内 富久	
大月市長	小林 信保	会長
上野原市長	江口 英雄	
道志村長	長田 富也	
西桂町長	小林 千尋	
忍野村長	天野 多喜雄	
山中湖村長	高村 文教	
鳴沢村長	小林 優	
富士河口湖町長	渡辺 喜久男	
小菅村長	舩木 直美	監事
丹波山村長 職務代理者	原島 秀明	
山梨赤十字病院長	今野 述	
富士吉田市立病院長	松田 政徳	
都留市立病院長	関戸 弘通	
大月市立中央病院長	山崎 暁	
上野原市立病院管理者	藤来 靖士	
富士吉田医師会長	刑部 光太郎	
都留医師会長	大戸 一志	
北都留医師会長	渡部 一雄	副会長
南都留歯科医師会	周東 左起子	
富士五湖消防本部消防長	太田 守	
山梨県看護協会 富士・東部地区支部長	和田 優子	
富士五湖薬剤師会	橋爪 美枝子	
富士・東部保健所管内 愛育連合会 会長	吉田 富士子	
富士・東部保健所管内 食生活改善推進員協議会長	渡辺 チヅ子	
シチズン電子株式会社 総括安全衛生管理者	堀内 十七三	監事
富士吉田養護教員研究会長	土屋 智美	
山梨県介護支援専門員協会 富士北麓・東部支部長	伊藤 清子	
NPO法人むつみの会理事長	安富 恵美子	

令和元年度病院群輪番制病院運営事業 診療科別患者数等調

(事業者名：富士・東部地域保健医療推進委員会)

区 分		内科	小児科	循環器科	透析科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻咽喉科
患者延数	休日 (8時～18時)	3,184	97	71	0	1	859	957	546	238
	準夜 (18時～22時)	3,624	150	69	0	0	831	1,023	459	213
	深夜 (22時～8時)	2,309	63	66	0	3	312	395	412	86
計		9,117	310	206	0	4	2,002	2,375	1,417	537
1日平均患者数(366日)		24.91	0.85	0.56	0.00	0.01	5.47	6.49	3.87	1.47

区 分		脳神経外科	心臓血管外科	眼科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	放射線科	形成外科	総合計
患者延数	休日 (8時～18時)	289	11	19	149	133	1	6	0	6,561
	準夜 (18時～22時)	377	1	19	186	153	0	0	1	7,106
	深夜 (22時～8時)	141	2	8	121	54	0	0	0	3,972
計		807	14	46	456	340	1	6	1	17,639
1日平均患者数(366日)		2.20	0.04	0.13	1.25	0.93	0.00	0.02	0.00	48.19

(5) 移植医療 (骨髄バンク登録)

骨髄バンク登録希望者に対し、骨髄バンク制度の概要説明、骨髄バンク登録申込書記入等の書類手続き及びHLA型検査のための採血を行っている。

受付状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)
件数	1	1	2	1	3	1

## (6) 臓器移植関係

平成12年度より、臓器移植を推進するためのボランティア活動をおこない、臓器移植の正しい知識の普及啓発に努めるとともに、臓器提供意思表示カードなどを配布している。

国では、毎年10月を「臓器移植普及推進月間」としており、本県においても普及月間の活動の一環として、以下のとおり各地で街頭キャンペーンを行なった。

開催日	場所	参加者	状況
令和元年10月5日(土)	おかじま都留店 オギノ都留店	約15名	ライオンズクラブメンバー、 保健所職員が参加
令和元年10月6日(日)	道の駅富士吉田	約28名	ライオンズクラブメンバー、 腎臓病協議会、保健所職員が 参加

## (7) 衛生統計

国において実施されている衛生関係統計の基礎となるデータの収集を行っている。  
毎月市町村から送付される出生、婚姻、離婚、死亡、死産についての人口動態票の審査及び処理を行っている。

### 平成 30 年 管内人口動態統計

市町村名	項目	出生	死亡	死産	婚姻	離婚
富士吉田市		331	506	8	180	60
都留市		195	351	8	96	49
大月市		90	401	-	74	27
上野原市		84	343	5	62	21
道志村		5	18	-	7	4
西桂町		26	35	-	14	8
忍野村		91	63	1	73	8
山中湖村		36	52	2	23	8
鳴沢村		25	37	1	16	2
富士河口湖町		218	232	5	117	50
小菅村		1	9	-	4	-
丹波山村		2	15	-	4	-
計		1,104	2,062	30	670	237

### 管内人口動態統計年次推移 (富士・東部保健所)

項目	25		26		27		28		29		30	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
出生	1,310	7.1	1,304	7.1	1,226	6.8	1,193	6.7	1,139	6.5	1,104	6.4
死亡	2,046	11.1	2,038	11.1	1,988	11.1	2,024	11.4	2,020	11.5	2,062	11.9
死産	34	25.3	33	24.7	22	17.6	19	15.7	24	20.6	30	33.7
婚姻	851	4.6	777	4.2	774	4.3	712	4.0	756	4.3	670	3.9
離婚	298	1.61	250	1.36	274	1.52	222	1.25	271	1.54	237	1.37

出生率 = 年間出産数 / 10月1日人口 × 1,000

死亡率 = 年間死亡数 / 10月1日人口 × 1,000

死産率 = 年間死産数 / 年間出産数 (出生数 + 死産数) × 1,000

婚姻率 = 年間婚姻届出件数 / 10月1日人口 × 1,000

離婚率 = 年間婚姻届出件数 / 10月1日人口 × 1,000

年間死産数 = 自然死産数 + 人口死産数

年間出産数 = 出生数 + 死産数

人口 : 山梨県常住人口調査

### 母性保護統計

(富士・東部保健所)

	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人工妊娠中絶	127	170	189	198	183	149	168
不妊手術	0	0	0	0	0	0	0

平成 30 年 選択死因別死亡者数

市町村名 項目	富士 吉田 市	都留 市	大月 市	上野 原市	道志 村	西桂 町	忍野村	山中湖 村	鳴沢村	富士 河口 湖町	小菅 村	丹波 山村	合計
結核	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
悪新生物	152	82	96	78	4	10	14	13	7	58	3	3	520
糖尿病	8	2	5	3	-	1	1	2	1	8	-	-	31
高血圧性 疾患	11	2	1	2	-	-	1	-	2	1	-	-	20
心疾患	81	51	59	40	3	4	12	10	2	40	1	3	306
脳血管 疾患	50	37	40	21	3	1	5	3	1	14	-	2	177
大動脈瘤 及び解離	5	5	2	3	-	1	3	2	1	7	1	-	30
肺炎	20	17	27	25	-	-	2	4	1	10	1	-	107
慢性閉塞性 肺疾患	7	5	4	4	1	1	-	1	1	5	-	-	29
喘息	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
肝疾患	5	3	4	2	1	1	1	-	1	5	-	-	23
腎不全	12	7	6	9	-	-	-	1	-	4	-	-	39
老衰	29	40	24	56	2	1	5	-	10	16	-	-	183
不慮の 事故	19	15	14	21	2	3	1	3	2	10	2	1	93
自殺	8	3	9	5	1	2	4	-	-	6	-	-	38
計	407	270	292	270	17	25	49	39	29	184	8	9	1,599

(資料提供医務課)



## (8) 大規模災害時保健医療救護関係

### ア 大規模災害時情報伝達訓練

#### ①事前担当者会議

日時	場所	内容
令和元年12月26日	大月市	各関係機関の役割と今年度の訓練内容、手順の確認 令和元年度台風19号のふりかえりについて

参加機関：管内12市町村、管内8病院、管内医師会、管内歯科医師会、管内薬剤師会、栄養士会、透析施設、管内消防本部

#### ②情報伝達訓練

令和2年2月7日に実施予定だったが、新型コロナウイルス対応のため中止となる。

### イ 令和元年度山梨県国民保護実動訓練

日時	場所	内容
令和元年11月21日	山中湖村	大規模テロから国民を保護するため、関係機関の対応能力の向上や連携強化を目的に、実動訓練を行った。(住民避難、避難所、医療救護所の設営、応援要請、応援受諾)

参加機関：管内市町村（山中湖村、富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、西桂町、道志村、忍野村、鳴沢村）、消防、警察、自衛隊、県内医療機関、富士吉田医師会等

### ウ 令和元年度中部ブロックDMAT実動訓練

大規模災害発生に際し、中部ブロック各県が緊密な連携を図り、被災地における病院支援、医療搬送、救急医療等を迅速に実行できるよう実践的訓練を行う。

#### ①事前会議

日時	場所	内容
令和元年6月24日	山梨赤十字病院	関係者で訓練内容の確認、患者移送の方法について
令和元年7月11日	富士・東部保健所	市町村関係者で訓練の内容の確認、避難所の設営等について
令和元年7月11日	富士吉田市立病院	病院関係者で訓練の内容の確認、患者移送の方法について
令和元年9月23日	鳴沢村	避難所設営訓練について
令和元年10月4日	大月市立中央病院	訓練の最終確認について

#### ②中部ブロックDMAT実動訓練

令和2年10月12日に実施予定だったが、台風19号のため中止となる。

### エ その他訓練の参加

日時	場所	内容
令和元年8月25日	上野原市	地震を想定した上野原市の医療救護所設置訓練の企画支援を行った。

## 2 感染症対策

感染症の予防及び感染症の患者の医療に関する法律（以下、感染症法）に基づき、感染症の発生予防、まん延防止対策を推進している。

### (1) 感染予防及び医療対策

#### ア 感染症発生動向調査

感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図るため病原体を収集・分析し、流行している病原体の状況及び特性を確認する。また、地域感染症流行情報の収集を行い、関係機関や住民へ流行状況をホームページ等により還元している。

#### イ 感染症診査協議会

感染症法に基づき、感染症指定医療機関の医師、感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者、医療以外の学識経験を有する者を感染症診査協議会委員に委嘱（任命）し、入院を必要とする感染症発生時には患者の適正な医療と患者の人権に配慮するための協議会を設置している。

#### ウ 感染症のまん延防止・感染症危機管理体制

患者発生の届出や連絡により、初動調査・防疫措置を迅速に対応するため、保健所内の体制を整備している。発生届等から把握した発生状況により感染症法に基づく必要な積極的疫学調査を行い、感染拡大防止策を実施している。なお、管内には2ヶ所の第二種感染症指定医療機関（富士吉田市立病院、大月市立中央病院）が設置されている。

#### (ア) 感染症発生届

令和元年度

分類	届出名	件数
二類感染症	結核	22
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2
四類感染症	つつが虫病	1
五類感染症	梅毒	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	2
	百日咳	1
	風しん	2

#### (イ) インフルエンザ様疾患（集団かぜ）発生報告件数

令和元年度

	休校	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園	0	1	1
小学校	0	9	17
中学校	0	2	5
高等学校	0	0	2
計	0	12	25

(授業短縮除く延べ件数)

## (2) 新型インフルエンザ対策

平成 21 年度に発生したインフルエンザ (A/H1H1) の発生対応の課題等を踏まえ、県では「山梨県新型インフルエンザ行動計画 (改定第 2 版)」を平成 23 年 12 月 20 日に改定した。

平成 24 年 5 月新型インフルエンザ等対策特別措置法が公布され、平成 25 年 4 月に施行となった。これに併せ山梨県新型インフルエンザ等対策本部設置条例が制定され、平成 26 年 2 月 4 日をもって「山梨県新型インフルエンザ等対策行動計画」が策定された。

新型インフルエンザを含む新たな感染症発生に備え、富士東部地区における関係機関の体制整備のため、平成 25 年度に富士・東部地区新型インフルエンザ等対策会議を設置した。

また、平成 30 年度に富士・東部地区新型インフルエンザ等対策会議作業部会を設置した。

今後は、危機管理対策の一環として所内体制整備をはかるため、これまでの研修会や演習訓練に加え、県行動計画を踏まえた業務継続計画 (BCP) の見直しと発生を想定した迅速な防疫対応のための研修会・演習訓練を実施していく。

- ① 令和元年 7 月 3 日 防護服着脱及び N95 マスクフィットテスト
- ② 令和元年 11 月 8 日 新型インフルエンザ等対策連絡訓練
- ③ 令和元年 7 月 10 日 新型インフルエンザ等対策会議作業部会
- ④ 令和元年 9 月 25 日 新型インフルエンザ等対策会議作業部会
- ⑤ 令和元年 12 月 18 日 新型インフルエンザ等対策会議

## (3) 感染症発生防止講習会等の実施

集団感染症リスクの高い社会福祉施設等への発生予防啓発のため、インフルエンザ対策の他、ノロウイルスを中心とした感染性胃腸炎対策の出前講座などを実施した。

また、医療施設立入り検査においても指導を行なった。

日時		人数	対象	内容
令和元年 6 月 6 日	出前講座	30	施設関係職員	施設における感染症対策
令和元年 6 月 17 日	出前講座	30	高齢者福祉施設職員	施設における感染症対策
令和元年 8 月 7 日	出前講座	10	保育関係職員	園における感染症対策
令和元年 9 月 11 日	出前講座	45	高齢者福祉施設職員	施設における感染症対策
令和元年 10 月 30 日	出前講座	15	高齢者福祉施設職員	施設における感染症対策
令和元年 12 月 16 日	出前講座	25	施設関係職員	施設における感染症対策
令和元年 2 月 5 日	出前講座	30	保育関係職員	園における感染症対策

## (4) 肝炎対策

国内最大の感染症である B 型及び C 型ウイルス性肝炎対策について、平成 20 年度から「肝炎治療費助成事業」が開始されている。これまで助成対象の追加等の変更がある中、近年では、平成 31 年 2 月 26 日に「エプクルーザ配合錠」のインターフェロンフリー治療を助成対象とした。

今後さらに治療が必要とされる感染者への早期治療の促進のため、患者が医療機関での治

療を受けやすくすることで、肝硬変、肝がんの予防と感染防止の普及、健康保持を図ることが期待される。

令和元年度

肝炎治療費助成制度申請区分	申請件数
インターフェロン治療（新規）	1件
インターフェロン治療（2回目）	0件
ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤による3剤併用療法	0件
インターフェロンフリー治療	46件
核酸アナログ製剤治療（新規）	3件
核酸アナログ製剤治療（更新）	88件

### （5）特定感染症予防対策

エイズ（H I V）を含む性感染症の患者が増加傾向にある中で、特定感染症に関する正しい知識の普及啓発のために、若年層への感染予防対策として中学、高校生を対象としたエイズ知識普及啓発講習会の開催や県民の日のイベント等を利用して相談・検査普及活動を行なった。

平成18年度からはH I V抗体検査の結果書を即日交付としたほか、夜間検査を月に1回実施し、相談・検査体制の充実を図っている。

検査希望者にはH I V抗体検査のほか、特定感染症検査（クラミジア抗体・梅毒・B型肝炎抗原・C型肝炎抗体）を行なった。

ア 相談等件数・H I V抗体他特定感染症検査件数

令和元年度（件）

相談		検査								
電話	来所	H I V 抗原抗体 検査	確認検査	（再掲） 夜間検査	クラミジア	梅毒	B型 肝炎	C型 肝炎	HCV コア 抗原	HCV RNA
4	0	77	0	13	67	68	68	68	0	1

イ 知識普及啓発講習会

令和元年度

開催日	開催場所	対象者	参加人数（人）
令和元年11月6日	ひばりが丘高校	生徒、教員 （昼間部）	95
令和元年11月6日	ひばりが丘高校	生徒、教員 （夜間部）	13
令和2年2月5日	日本大学明誠高校	生徒、教員	370

ウ イベント等における普及啓発

実施日	イベント名	実施場所	内容
令和元年 6月1日～7日	HIV 検査普及週間	富士・東部保健 福祉事務所 他	通常検査と夜間検査（6月5日） の実施及び住民への検査 PR（チ ラシ配布等）
令和元年 11月29日～ 12月6日	世界エイズデー関連 キャンペーン	富士・東部保健 福祉事務所 他	ホームページを活用した普及啓 発と検査周知。住民、高校生・ 大学生への検査 PR（ポスター・ チラシ配布等）。 夜間検査の実施（12月4日）

(6) 予防接種対策

定期予防接種は予防接種法に基づき市町村が実施主体となり、疾病の流行阻止の観点に加え個人の発病・重症化防止策として実施している。接種は有効性や安全性が認められ、主に感受性者対策として感染症対策上重要であり、対象となる住民に対し推奨されるものである。現在、県下の市町村において対象者への接種機会の充実を図り、保護者の利便性を考慮した相互乗り入れによる個別接種体制が整備されている。

### 3 結核予防対策

結核患者は健診並びに予防接種の普及、抗結核薬の開発及び環境の改善により急激に減少しているが、患者の高齢化が進むとともに、発見の遅れ、受診の遅れによる患者の発生が見られる。

このため、各市町村で行う結核定期健診受診率の向上、特に高齢者の健診強化と乳幼児に対する予防接種（BCG）の徹底、患者管理及び感染予防対策を行っている。

結核 予 防 対 策 の 推 進	結核予防指導	結核予防思想の普及啓発と指定医療機関従事者及び結核予防関係者に対する必要な指導を行う。
	感染症診査協議会	一般患者の公費負担の適否、就業制限・入院勧告患者の措置決定を行う。
	定期健診	受診率向上のための市町村指導、患者の早期発見及びまん延防止を図る。
	管理検診及び接触者健診	要経過観察者、接触者の健診を徹底実施する。
	結核対策特別促進事業	結核予防の推進に資することを目的とし、普及啓発事業や定期健診の未受診者の受診を促進し、早期発見に努める。
	感染症発生動向調査	患者届出、医療費公費負担申請資料等を情報源とする登録患者データベースを作成し、患者管理業務に利用する。

#### (1) 健康診断の実施状況

令和元年 12 月末現在

区 分			対象施設数	対象者数	受診者数	受診率	間接撮影者数	直接撮影者数	検査結果	
									患者発見数	患者発見率
定 期	事業者		349	7,255	6,919	95.4	1,729	5,190	0	0
	学校長		18	5,803	5,568	96.0	4,696	872	0	0
	内 訳	高等学校	12	1,519	1,517	99.9	890	627	0	0
		大学(短大)	4	4,247	4,014	94.5	3,769	245	0	0
		その他	2	37	37	100.0	37	0	0	0
	施設長		30	1,167	1,143	97.9	102	1,041	0	0
	市町村長		12	75,979	10,582	13.9	4,835	5,747	0	0
	内 訳	民 一般 住	65歳以上		52,384	9,439	18.0	4,699	4,740	0
その他				23,595	1,143	4.8	136	1,007	0	0

## (2) 市町村別結核定期健診

令和元年12月末現在

	人 口	対象者数	受診者数	受診率
富士吉田市	47,211	14,228	1,491	10.5
都 留 市	30,751	8,722	2,564	29.4
大 月 市	23,128	9,308	1,952	21.0
上野原市	23,052	8,242	439	5.3
道 志 村	1,612	701	228	32.5
西 桂 町	4,116	1,135	189	16.7
忍 野 村	9,242	1,913	467	24.4
山中湖村	5,152	1,747	582	33.3
鳴 沢 村	2,944	1,003	243	24.2
富士河口湖町	25,502	4,805	947	19.7
小 菅 村	688	326	173	53.1
丹波山村	518	254	164	64.6
合 計	173,916	52,384	9,439	18.0

※ 人口は令和元年10月1日現在の推計人口

(3) 市町村別登録者状況

ア 新登録及び除外者状況（潜在性結核感染症を除く）

令和元年12月末現在

	新規				除外							本年末数
	新登録	管外転入	管内転入	小計	死亡		観察不要	管外転出	管内転出	その他	小計	
					結核死	その他						
富士吉田市	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	7
都留市	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	4	5
大月市	3	0	0	3	0	2	0	0	0	0	2	4
上野原市	3	1	0	4	1	0	0	0	0	0	1	5
道志村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西桂町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
忍野村	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
山中湖村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳴沢村	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
富士河口湖町	4	1	0	5	1	0	1	2	0	0	4	11
小菅村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丹波山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	4	0	17	4	3	4	2	0	0	13	35



イ 活動性結核分類、受療状況

令和元年 12 月末現在

		総 数	活動性結核									不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	(再掲)			
			小 計	肺活動性結核						活 動 性 肺 外 結 核	潜在性結核			非定型			
				肺 結 核 活 動 性 小 計	登録時			菌 陽 性 そ の 他	そ の 他 菌 陰 性		治 療 中			観 察 中	治 療 中	観 察 中	
					計	初回 治療	再治 療										
管内	総数	35	16	13	5	5	0	3	5	3	8	11	7	3	0	0	
	入院中	7	7	6	5	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	9	9	7	0	0	0	2	5	2	0	0	6	0	0	0	
	治療なし	19	0	0	0	0	0	0	0	0	8	11	0	3	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
富士吉田市	総数	7	3	2	1	1	0	1	0	1	3	1	0	0	0	0	
	入院中	2	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	治療なし	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
都留市	総数	5	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	1	0	0	
	入院中	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	治療なし	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
大月市	総数	4	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	治療なし	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上野原市	総数	5	1	1	1	1	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	
	入院中	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
	治療なし	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道志村	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

		総 数	活動性結核							活動性肺外結核	不活動性結核	活動性不明	(再掲)					
			小 計	肺活動性結核					治療中				観察中	潜在性結核		非定型		
				肺結核活動性小計	登録時			菌陽性その他						その他菌陰性	治療中	観察中	治療中	観察中
					計	初回治療	再治療											
西桂町	総数	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	入院中	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
忍野村	総数	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
山中湖村	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鳴沢村	総数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	治療なし	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
富士河口湖町	総数	11	8	8	2	2	0	1	5	0	1	2	1	1	0	0		
	入院中	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	6	6	6	0	0	0	1	5	0	0	0	1	0	0	0		
	治療なし	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小菅村	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
丹波山村	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

(4) 感染症診査協議会の状況

令和元年度

	諮問件数	答 申 件 数		
		決定件数	否決件数	保留件数
法20条1項	9	9	0	0
法20条4項	17	17	0	0
法37条の2	29	29	0	0
出席回数	20			

(5) 患者管理検診及び患者家族健診実施状況

ア 管理検診（定期病状調査を含む）

令和元年度

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	診察指導	直接撮影	喀痰検査		断層写真	特殊撮影
						塗抹	培養		
委託医療機関	38	35	92.1	35	35	2	2	0	0

イ 家族・接触者健診（他の保健所からの依頼分含む）

令和元年度

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	診察指導	ツ反	BCG	直接撮影	喀痰検査		断層写真	特殊撮影	IGRA検査
								塗抹	培養			
保健所 (検査は検査機関 へ委託)	117	117	100	117	/	/	/	/	/	/	/	117
委託医療機関	49	49	100	49	1	0	21	3	2	0	0	31
計	166	166	100	166	1	0	21	3	2	0	0	148

※ 保健所における健康診断（QFT検査を除く）は平成18年3月をもって終了。

(6) 結核定期病状調査事業

令和元年度

区 分		報告書受理件数
要医療者	医療費公費負担の申請を行ってない者	0
	医療費公費負担承認期間が終了した後、再申請を行わなかった者	0
	その他治療の中断が考えられる者	0
経過観察者	管理検診を要する対象者であって、保健所において検診結果が把握できていない者	1
計		1

## 4 精神保健福祉対策

社会の複雑化・高齢化に伴い、子どもから高齢者に至るまで、心の健康を損なう者が増加している。このような状況の中で、保健所を中心とした地域精神保健福祉活動がますます重要になってきているが、その活動状況は次のとおりである。

### (1) 管内措置入院者数

(令和元年度)

措置入院者数（管外保健所通報受理者含む）	5
----------------------	---

### (2) 管内自立支援医療受給者証及び精神障害者保健福祉手帳所持者数

(令和2年3月末現在)

自立支援医療（精神通院）受給者証	1,824
精神障害者保健福祉手帳	1,342

### (3) 通報等件数

(令和元年度)

	申請通報 件数	診察不要と 認めた者	診察を受けた者		措置入院 した者	措置入院に 該当しない 者
			精神障害者	障害者で ない者		
診察及び保護申請	0	0	0	0	0	0
警察官通報	13	8	5	0	4	1
検察官通報	0	0	0	0	0	0
保護観察所長の通報	0	0	0	0	0	0
矯正施設長の通報	0	0	0	0	0	0
精神病院管理者の届	0	0	0	0	0	0
計	13	8	5	0	4	1

### (4) 相談、訪問指導

延べ人数（令和元年度）

	電話相談	来所相談	医師相談	巡回相談	訪問指導	計
一般	752	99	3	0	133	987
高齢者	21	3	0	0	3	27

(5) いのちのセーフティネット体制推進事業

ア 地域セーフティネット連絡会議

年 月 日	場 所	内 容	参加者数
令和元年 12月13日	富士吉田合同庁舎	議事(1)山梨県における自殺対策について 議事(2)富士・東部地域における取り組みについて ①「富士・東部保健所管内の自殺の状況と自殺対策の取り組み方針について」 ②「各関係機関の今年度の取り組みと課題」 ③「意見交換」	24名

イ いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議

年 月 日	場 所	内 容	参加者数
令和元年 7月25日	富士吉田合同庁舎	議事(1)山梨県自殺対策推進計画におけるハイリスク地対策について 議事(2)平成30年度・令和元年度の取り組みについて各機関からの活動報告 議事(3)その他	28名

ウ いのちをつなぐボランティア新規養成講座

年 月 日	場 所	内 容	参加者数
令和元年 12月20日	富士吉田合同庁舎	(1)情報提供 山梨県及び青木ヶ原樹海周辺における自殺対策の取り組みと現状について (2)講義及び演習 「自殺に傾く人の心の特徴とマインドフルな支え方」	30名

エ 出張メンタルヘルス講座

小規模事業所や介護施設等を対象に、精神科医や精神保健福祉相談員によるメンタルヘルス出張講座及びメンタルヘルス相談を実施する。

年 月 日	場 所	対 象	内 容	参加者数
令和元年7月25日	YAKINIKU 竜が丘	富士吉田商工会議所 観光サービス部会員	「職場のメンタルヘルス」	22名
令和元年11月15日	大月市民会館	福祉工房職員	「こころの健康について」	41名

## (6) 精神障害者地域移行支援事業

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で、医療、福祉等の支援を行うという観点から、地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進する。

圏域・地域体制整備コーディネーターとして、事業委託先事業所主催のピアサポーター連絡会や活動において技術支援を行うことにより、ピアサポーターのスキルアップを図るなど、関係機関と連携しながら地域移行の推進に必要な地域体制の整備を行う。

年 月 日	会議名等	内容
令和元年 5 月 16 日	ピアサポーター連絡会	活動内容報告及び今後の活動の検討
令和元年 7 月 18 日	ピアサポーター連絡会	〃
令和元年 9 月 19 日	ピアサポーター連絡会	〃
令和元年 10 月 24 日	地域移行支援事業市町村担当者会議	(1)圏域の現状報告及び課題について意見交換 (2)保健所及び市町村における協議の場について進捗状況確認と意見交換
令和元年 11 月 21 日	ピアサポーター連絡会	活動内容報告及び今後の活動の検討
令和 2 年 1 月 6 日	ピアサポーター連絡会	〃
令和 2 年 2 月 12 日	ピアサポーター活動（個別支援）	地域生活移行支援の関係者との顔合わせと役割確認

## (7) 組織育成

	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他
支援件数	1	2	0	0	1

## (8) 社会適応訓練事業

精神障害者に一定期間仕事の場を提供し、働くことを通して社会適応訓練を行い、再発防止と社会的自立を促進する。

	対象者	協力事業所	訪問指導者
該当数	0 名	0 事業所	0 機関